

亀山警察署協議会議事録

令和5年度第3回亀山警察署協議会	
日 時	令和5年12月12日（火）午前9時～午前11時45分 亀山市立川崎小学校体育館及び亀山警察署3階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会委員 4名 清水隆啓委員、中川宗沖委員、中川理恵子委員、 村原菜見子委員</p> <p>2 警察署 7名 署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 防犯訓練の視察（亀山市立川崎小学校）</p> <p>2 管内の治安情勢等説明（警察署長）</p> <p>(1) 刑法犯認知件数 「本年10月末現在の管内における刑法犯認知件数は238件（前年同期比+96件）であり、自転車盗は19件（前年同期比+10件）、オートバイ盗は8件（前年同期比+8件）発生している。」旨説明した。</p> <p>(2) 少年犯罪の状況 「本年10月末現在の管内における非行少年は2人（前年同期比+1人）で、不良行為少年は56人（+22人）である。」旨説明した。</p> <p>(3) 特殊詐欺の認知件数 「本年10月末現在の管内における特殊詐欺の認知件数は18件（被害総額約1,085万円）であり、昨年（認知件数10件、被害額約540万円）と比べて大幅に増加している。特に架空請求詐欺が10件と多く発生している。」旨説明した。</p> <p>(4) 交通事故発生件数 「本年10月末現在の管内における交通事故発生件数は1,147件（前年同期比+156件）であり、物件事故発生件数は1,072件（前年同期比+145件）である。また、7月に交通死亡事故が発生している。」旨説明した。</p> <p>3 協議内容</p> <p>(1) 刑法犯認知件数等について <委員> 亀山署管内の刑法犯認知件数が100件近く増加していると説明を受けたが、どのような犯罪が増加しているのか教えてほしい。 【署長】 刑法犯のうち、窃盗犯が大半を占めており、特に銅線やグレーチング等を盗む金属盗が増加している。 このほか、特殊詐欺も大幅に増加している。</p> <p>(2) 特殊詐欺対策と検挙について <委員> 10月11日に亀山市文化会館大ホールで開催されたコロッセ特別防犯支援官による講演のDVD鑑賞は、当時の記憶がよみがえって良かった。 警察が、特殊詐欺対策を行っていることは認識しているが、犯人を捕まえることは難しいのか。 【署長】 受け子や出し子を検挙した後の突き上げ捜査が課題である。</p>	

新聞報道等で御存じかもしれないが、来年度から、各県の捜査員が東京などの大都市圏に集められ、約500人体制の特殊詐欺捜査専門部隊が、捜査に当たることとなっている。

(3) 防犯訓練の視察について

<委員> 川崎小学校の防犯訓練を視察し、防犯ブザーの使い方や大声を出す訓練は、子供たちにとって防犯意識を高める良い機会だと感じた。

親の立場として、今後、助けを求める声や防犯ブザーの音を聞いた時、どのように対応するべきか考える機会になった。

<委員> 今後も、学年に応じた防犯訓練を行っていただきたい。

【署長】 今後も積極的に訓練を行っていく。

備 考	報道機関 1 社（伊勢新聞が、川崎小学校の防犯訓練を取材）
-----	-------------------------------